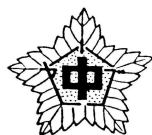


令和3年度学校便り



# 目に新しくき眼もて

小布施町立小布施中学校  
NO.1  
令和3年4月16日 発行

## 令和3年度 小布施中学校着任式・入学式

「栗の若葉は かがやきて 五山にのこる 雪白し〜♪」と校歌に歌われる景観そのものの天候に恵まれた4月6日(火)、令和3年度の小布施中学校入学式が行われました。

100名の新入生を迎えたこの日は、教育委員会告示で中島教育長が、「小布施の町は桜の花の季節を迎えています。この小布施中学校ができた62年前に植えられた校庭の桜も満開です。」と触れられたように、満開の桜もこの日を彩ってくれました。

感染症拡大防止対応のため、会場は新入生と保護者に限定されましたが、2・3年生は教室からオンライン映像を視聴する形での挙行となりました。

新しい後輩をしっかり迎えようと2・3年生が心を込めて準備した会場で、新しい学校長の着任式や入学式を終えることができました。新たな学校やクラスの中で頑張っていこうとする希望に満ちた顔つきの1年生の姿がありました。多くの方々の協力で小布施中学校が新年度のスタートをきることができました。



### 学校目標 「夢」「忍耐」「思いやり」

入学式では、学校長より、小布施中学校の学教教育目標に触れ、「今どんな夢を思い描いているのでしょうか？ 3年間の中学校生活の中で得意なことをさらに伸ばしたい。苦手だったことを克服したい。あんな事やこんな事をできるように、わかるようになりたい。それぞれ思い思いの夢を思い描いていることでしょう。これからは、夢の実現に向けて様々なことに目標を持って取り組むことで、自分も伸びて人の役にも立てる力を高めていってほしい。」と、お話がありました。

中学校の3年間は、心身共に大きく変化する時です。勉強や仲間・先生・親との関係で悩むこともあります。それは全てみなさんの成長に必要なことです。目標をたてて、自分の出来ることをコツコツと続け、自分たちの「夢」の実現に向け挑戦していきましょう。

## 1学期始業式 随人観美(ずいじんかんび)

入学式後に行われた始業式では、全校生徒が会場に揃いました。学校長から「随人観美(ずいじんかんび)」という言葉を紹介しての話がありました。

私たちは人との距離を保つことを強いられています。こんな時だからこそ、物理的な距離は離れていても、心と心は寄り添っていたい。それが「随心」です。  
人と人のふれ合う「随心」、まずは「あいさつ」から。  
「観美」とは、人は誰もがキラリと光る美しいものを持っている。相手のよいところをしっかりと認め合う。ともすると悪いところを見てしまい、わざわざ伝えたりしてしまう。そうではなくて人のよいところを互いに認め合いたい。  
こんな時だからこそ、「随心観美」。

